



東日本大震災7年 被災者アンケート

避難生活を続ける人は現在も7万人余りにのぼります。

また、仮設住宅で暮らす人は、1年前より約2万人減って1万3000人余りで、

災害公営住宅で暮らす人のほうが多くなって4万人余りになっています。

住宅の復興が進む中、被災した人たちは今の生活をどう考えているのか、

約5700人を対象にアンケートを行いました。

【回答者】1932人(岩手747人・宮城676人・福島480人・その他29人)

Q.

現在の世帯構成を教えてください。(あてはまるものすべて)

回答	全体
① 高齢世帯(65歳以上のみ)	34.7%
② 子育て世帯(未成年の子どもや孫と同居)	13.2%
③ 1人暮らし	24.7%
④ それ以外の世帯構成	35.6%

Q.

あなたの身近な方で、震災によって亡くなったり、行方不明になったりした方はいらっしゃいますか。(あてはまるすべての方)

回答	全体
① 親	8.0%
② 配偶者	4.2%
③ 子ども	2.3%
④ きょうだい	9.7%
⑤ 祖父母	1.7%
⑥ 孫	0.7%
⑦ 親戚	43.6%
⑧ 友人・知人	51.3%

Q.

現在お住まいの場所は、次のどれに当てはまりますか。

回答	全体
① 震災前と同じ場所	12.3%
② 震災前と同じ市町村	62.8%
③ 県内の別の市町村	20.0%
④ 震災前と別の都道府県	4.9%

Q.

震災当時、ご自宅の被害程度は、どのようなものでしたか。

回答	全体
① 全壊・流出	68.2 %
② 大規模半壊	8.0 %
③ 半壊	8.3 %
④ 一部損壊	10.6 %
⑤ 被害なし	5.0 %

Q.

現在のお住まいは次のどれに当てはまりますか。

回答	全体
① 元の場所にある自宅	11.0 %
② 別の場所に再建した自宅（購入したマンション含む）	29.8 %
③ 仮設住宅	13.8 %
④ みなし仮設の賃貸住宅（アパート含む）	2.3 %
⑤ 復興住宅・災害公営住宅	38.4 %
⑥ 自分で借りた賃貸住宅（アパート含む）	1.4 %
⑦ 親族・知人の家	0.6 %
⑧ その他	2.7 %

Q.

現在のお住まいについて、被災直後の想像と違っている点がありますか。

回答	全体
① ある	39.7 %
② どちらかといえばある	21.8 %
③ あまりない	27.2 %
④ ない	11.3 %



現在のお住まいについて、「被災直後の想像と違う点がある」とお答えになった方に伺います。
どのような点が想像と違っていましたか。(あてはまるものすべて)

回答	全体
① 自宅の再建を断念した	21.4 %
② 費用負担が大きい	36.2 %
③ 入居までに時間がかかった	37.0 %
④ 人が戻ってこない	18.3 %
⑤ 家族がバラバラになった	21.3 %
⑥ 地域の交流がなくなった	44.3 %
⑦ その他	11.7 %



あなた個人に対する支援のうち、最近打ち切られたもの(負担が増えたもの)は
次の中にありますか。(あてはまるものすべて)

回答	全体
① 住宅の無償提供・家賃補助	9.6 %
② 医療費負担免除	16.9 %
③ 税金や社会保険料の減免・猶予	11.3 %
④ 借金やローンの減免・猶予	1.8 %
⑤ 東電からの賠償金	10.2 %
⑥ 見守り活動・ボランティア活動	6.1 %
⑦ 自治体からの情報提供	4.7 %
⑧ 特になし	45.8 %
⑨ その他	3.6 %

Q.

現在の家計の状況について、どのように感じますか。

回答	全体
① 苦しい	18.7%
② どちらかと言えば苦しい	45.8%
③ あまり苦しくない	26.9%
④ 苦しくない	8.6%

Q.

現在の家計の収入源は何ですか。(主なものを2つまで)

回答	全体
① 給与・事業収入	36.6%
② 年金	69.8%
③ 預貯金の取り崩し	31.6%
④ 東電からの賠償金	7.8%
⑤ 生活保護	1.8%
⑥ 自治体からの支援金や義援金	2.2%
⑦ 失業給付	0.3%
⑧ 家族や親族の世話・扶養	2.8%
⑨ その他	3.5%

Q.

借金やローンについて、あてはまるものを選んでください。

回答	全体
① 震災前からの借金・ローンだけ抱えている	6.2%
② 震災後の借金・ローンだけ抱えている	17.5%
③ 震災前と震災後の借金・ローンをいずれも抱えている (二重ローンを抱えている)	3.4%
④ 震災後に借金・ローンをすべて返済した	15.2%
⑤ 震災後に自己破産・私的整理を行った	1.7%
⑥ もともと借金・ローンを抱えていない (震災前にすべて返済していた)	56.0%

Q.

「借金・ローンを抱えている」とお答えになった方に伺います。
返済状況について選んでください。(あてはまるものすべて)

回答	全体
① 計画通り返済を続けている	82.5 %
② 支払いを待ってもらっている	7.9 %
③ 支払いを待ってもらっていたが、最近返済が再開した	4.6 %
④ 自己破産・私的整理を検討している	1.7 %
⑤ その他	3.4 %

Q.

震災から7年がたとうとする中、被災地の姿も変わってきています。
以下の項目についてどう思いますか。

	① 思 わ な い	② あ ま り 思 わ な い	③ ど ち ら も な い	④ や や 思 う	⑤ そ う 思 う
A 全国的に風化が進んでいる	4.4 %	9.1 %	12.3 %	35.2 %	39.0 %
B 風景が変わり、被害が伝わりづらい	5.4 %	11.1 %	14.4 %	34.3 %	34.8 %
C 震災が話題にのぼらなくなった	5.5 %	11.0 %	13.3 %	39.1 %	31.1 %
D 被災地を訪ねてくる人が減った	2.8 %	6.3 %	15.3 %	35.9 %	39.8 %
E 被災者でも震災の記憶が薄れている	16.0 %	17.2 %	12.7 %	35.6 %	18.6 %
F もっと多くの遺構を残すべきだった	18.5 %	20.7 %	30.0 %	15.4 %	15.4 %
G 震災直後より被災経験を語りたいと思う	15.1 %	22.4 %	27.0 %	18.8 %	16.7 %



震災から7年がたとうとする中、以下の項目についてどう思いますか。

	① そう 思わない	② あまり 思わない	③ どちら でもない	④ やや 思う	⑤ そう 思う
A 今後の生活に不安を感じる	6.7%	10.1%	12.5%	32.1%	38.6%
B 復興から取り残されていると感じる	12.6%	21.0%	26.2%	20.9%	19.3%
C 震災による心身への影響が続いている	12.0%	15.5%	19.0%	29.6%	23.8%



「震災による心身への影響が続いている」と答えた人に伺います。
現在、どのような心身への影響がありますか。(あてはまるものすべて)

回答	全体
① よく眠れない	44.1%
② 気分が沈みがち	47.7%
③ 飲酒や喫煙の量が増えた	15.4%
④ 薬が必要になった	42.8%
⑤ 歩きにくくなった	31.2%
⑥ 意欲がわからない	38.8%
⑦ 血圧が上がった	33.2%
⑧ 体重が5キロ以上増減した	31.0%
⑨ 介護が必要になった・重度化した	6.5%
⑩ その他	15.1%

Q.

暮らしていた地域のこれまでの復興状況について
どのように感じていますか。

回答	全体
① 想定よりも早く進んでいる	4.1%
② それなりに進んでいる	44.8%
③ 想定よりも遅れている	33.6%
④ 進んでいる実感が持てない	17.5%

Q.

以下の項目について、「復興した」という実感がありますか。

	① 実感が ない	② あまり 実感が ない	③ どちら でもない	④ やや 実感が ある	⑤ 実感が ある
A 住宅について	16.2%	13.0%	18.5%	28.3%	24.0%
B 家計について	17.0%	25.4%	41.0%	12.2%	4.4%
C 地域経済について	22.9%	33.2%	30.2%	11.7%	2.0%
D 地域のつながりについて	25.4%	28.7%	26.7%	14.7%	4.4%



以下の項目について、そう思えるようになった時期はいつですか。

	1 年 後 ま で	3 年 後 ま で	5 年 後 ま で	6 年 後 ま で	現 在 ま で	現 在 も そ う 思 わ な い
A 仕事がもとに戻った	30.5%	17.9%	7.2%	2.8%	5.4%	36.3%
B 住まいの問題が最終的に解決した	5.4%	17.5%	19.1%	15.1%	16.2%	26.7%
C 家計への震災の影響がなくなった	9.1%	11.7%	9.6%	5.2%	10.2%	54.3%
D 毎日の生活が落ち着いた	5.3%	13.9%	14.1%	11.4%	18.7%	36.6%
E 自分が被災者だと意識しなくなった	3.2%	8.4%	8.6%	6.9%	13.9%	① 59.0%
F 地域の活動がもとに戻った	1.5%	5.0%	7.6%	4.1%	9.8%	72.1%
G 地域経済が震災の影響を脱した	0.6%	2.3%	4.6%	3.2%	5.8%	② 83.5%
H 震災前より災害に強い地域になった	1.1%	2.1%	4.2%	4.8%	15.7%	72.1%

① 現在も被災者意識が抜けない人は、59%にのぼる。

② 地域経済が震災の影響を脱していないと思う人は、83.5%にのぼる。



2020年の東京オリンピック・パラリンピックは、被災地の復興の後押しになると思いますか？

回答	全体
① そう思う	6.4%
② どちらかと言えばそう思う	12.1%
③ あまりそう思わない	40.7%
④ そう思わない	40.9%

ここからは震災当時、福島県内に住んでいた方に
県内特有の事情を踏まえ伺いました。

Q.

震災・原発事故の前に住んでいた地域は、
次のうち、どれに当てはまりますか。

回答	全体
① 今も避難指示が出ている区域	30.7%
② 避難指示が出ていたが解除された区域	57.6%
③ 避難指示区域外	11.7%

Q.

現在のお住まいは、次のうち、どれに当てはまりますか。

回答	全体
① 避難せず同じ場所に住んでいる	5.1%
② 避難生活を送っている	37.5%
③ 避難後、帰還した	11.3%
④ 避難後、移住した	31.3%
⑤ 自宅と避難先を行ったり来たりしている	11.5%
⑥ その他	3.4%

Q.

平成29年3～4月に浪江町・飯館村・川俣町・富岡町の一部で避難指示が
一斉に解除されてから1年が経とうとしています。
解除された地域の今の姿についてどう感じますか。

	① 思 わ な い そ う	② 思 わ な い あ ま り そ う	③ ど ち ら も な い	④ 思 わ な い や や そ う	⑤ そ う 思 わ な い
A 住民が戻ることができてよかった	30.8%	17.8%	19.3%	18.6%	13.5%
B 住民の帰還は順調に進んでいる	56.2%	28.6%	9.4%	4.6%	1.3%
C 若い人の帰還は十分に進んでいる	81.4%	13.8%	3.3%	0.5%	1.0%
D 地域のつながりが強くなった	49.2%	27.5%	13.6%	6.1%	3.5%
E 買い物など日常生活に支障がある	17.3%	7.8%	9.8%	13.8%	51.4%
F 除染に対する不安がある	10.8%	8.0%	12.8%	26.4%	42.0%
G このままではまちを存続できない	10.0%	4.0%	10.2%	23.4%	52.4%

アンケート回答者の属性

調査対象 : 岩手・宮城・福島の被災者や原発事故の避難者 約5700人
調査期間 : 2017年12月から2018年2月まで
調査手法 : 対面と郵送
回答者数 : 1932人 (回答率: 30%余り)

※福島特有の設問の回答者数は477人 (回答率: 40%余り)

性別

男性	54.4 %
女性	45.6 %

年代

14歳～95歳の人が回答。平均年齢は67.3歳

震災当時の居住地

岩手	39.3 %
宮城	35.5 %
福島	25.2 %